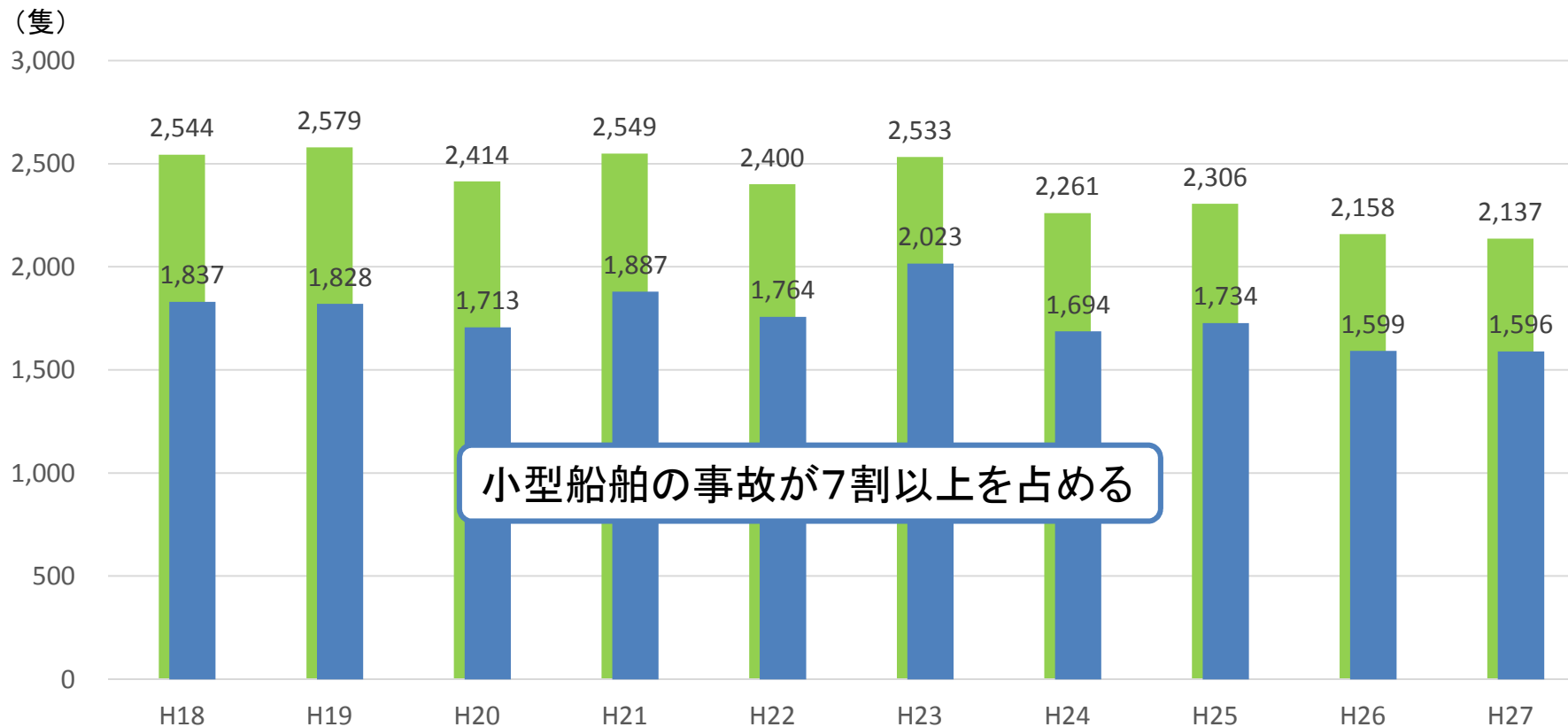


小型船舶事故の現状と対策

国土交通省海事局
安全政策課

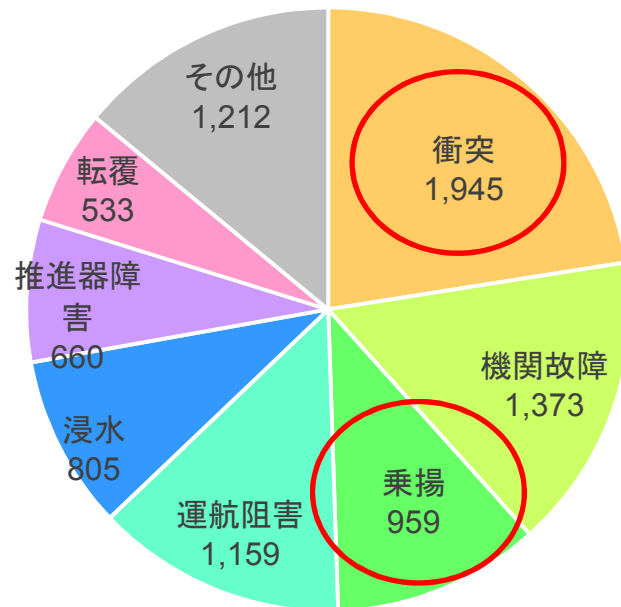
船舶事故隻数の推移



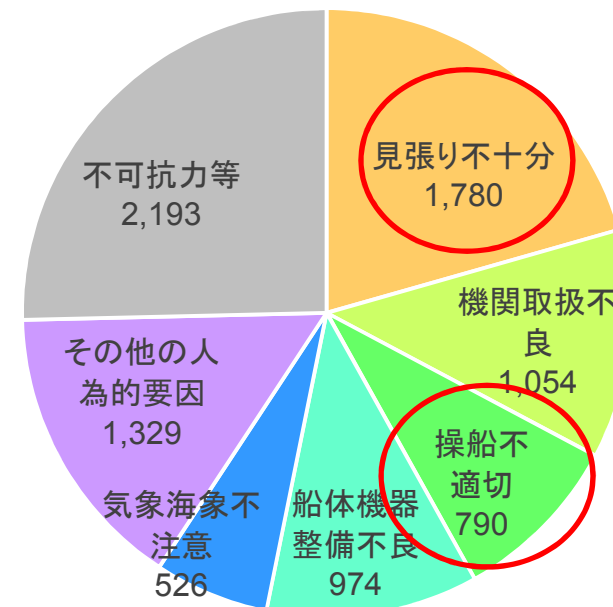
※この資料では、プレジャーボート、漁船、遊漁船を小型船舶という

海上保安庁統計から作成

船舶事故の種類

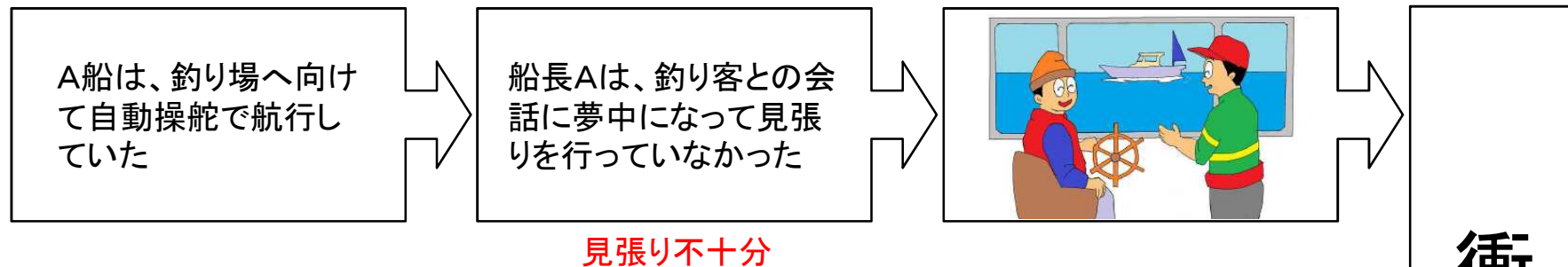


船舶事故の原因

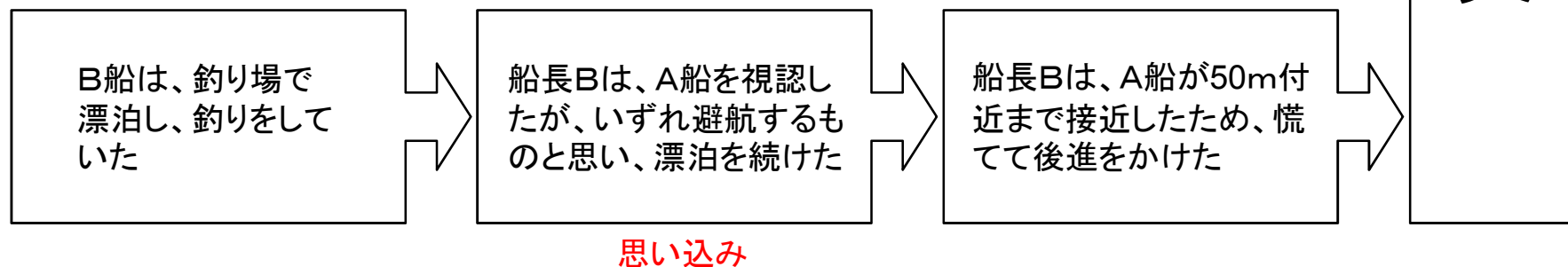


ヒューマンエラーが原因の衝突・乗揚事故が多数発生

A船(遊漁船/7.3トン)



B船(プレジャーボート/2.6トン)



ヒューマンエラーが重なって事故が生じた事例

小型船舶の衝突事故事例

A船(遊漁船/7.3トン)

A船は、釣り場へ向けて自動操舵で航行していた

この時、B船の**接近を知らせるアラート**があれば事故を防ぐことができたのではないかと

船長Aは、釣り客との会話に夢中になって見張りを行っていなかった



B船(プレジャーボート/2.6トン)

B船は、釣り場で漂泊し、釣りをしていた

船長Bは、A船を視認したが、いずれ避航するものと思い、漂泊を続けた

船長Bは、A船が50m付近まで接近したため、慌てて後進をかけた

この時、A船と**意思疎通をする手段**があれば事故を防ぐことができたのではないかと

衝突

他船の接近を警告



他船との意思疎通



船舶向けスマートフォンアプリの普及により
海上交通の安全性向上が期待される